

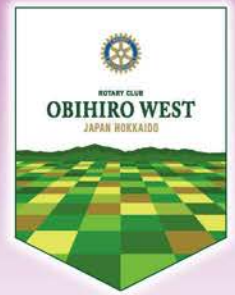


帯広西ロータリークラブ

第2394回例会

2022.7.21

会報



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

ゲスト紹介

RI第2500地区ガバナー	久木佐知子 様
第6分区ガバナー補佐	松原 光一 様
リソースとサポート委員長	本間 潤 様
地区副幹事	石川 泰路 様
地区副幹事	入場健太郎 様

会長報告

奥 敏則 会長

皆さまこんばんは。会長報告をさせていただきます。

まずは、18日に行われました帯広西ロータリークラブ創立50周年記念事業であります、株式会社植松電機、カムイスペースワークス代表取締役であります植松 努氏による講演、「思うは招く」(夢を叶える魔法の言葉)、定員を超える皆様にお集まりいただき、大変盛況のうちに行うことができました。小さな子供にも理解できる内容で、子供向けに優しい語り口でお話していただきました。しかし、いろいろと気づかされたのは我々大人であり、子供たちに夢を持たせることの大事さと、夢を諦めない事の大切さを伝えていただきました。今年度も当クラブは財団の地区補助金を活用させていただき、子供たちにロケット教室を行います。名刺交換の際には植松氏からも、このロケット教室の事業を継続して行ってほしいとの要望もいただきました。50周年実行委員長の佐藤委員長や記念事業部会の太田部会長を初め事業部会の皆様、そして参加していただきました会員の皆様、大変ご苦勞様でした。

さて本日は、RI第2500地区の久木佐知子ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問例会です。今日は清水ロータリークラブの公式訪問に続き、先程会長幹事懇談会、クラブ協議に出席をいただきました。これまでのロータリーの経験や豊富な知識でのアドバイスをいただき、我々の取り組みに対してお褒めの言葉もいただきました。我々も、楽しく明るいクラブを継続しながらも、責任ある大きなクラブとして成長を続けていくという決意をお伝えいたしま

した。公式訪問は先週の釧路方面から始まり、地区大会までの約3か月もの間で日本では最も広い2500地区の68クラブを巡る長丁場です。私の幹事時代は、久木ガバナーと同じ旭川西ロータリークラブの増田ガバナーでございましたが、増田ガバナーが役職を終えるころは、転んだかどうかしたのでしょうか、顔中アザだらけにしながら「ガバナーはやはり大変だった」と本音を吐露してくれました。久木ガバナーにおかれましては、是非ともご自愛をいただきたいと思っております。

後程、久木ガバナーより講話をいただきます。第1回目の例会での就任挨拶でRI会長のメッセージやカバナーの基本方針などは時間の都合で、触りだけお伝えいたしましたが、久木カバナーから直接お話ししていただきますので、心してお聞きいただき、これからのロータリー活動につなげていただければと思います。

以上で会長報告を終わります。

会務報告

森 房明 幹事

- ①帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内
日時 7月26日(火)午後6時30分
場所 波瀾万丈
- ②帯広北RC、7月29日(金)の例会は、休会と致します。
- ③帯広南RC、夜間例会開催のご案内(ガバナー公式訪問)
日時 8月1日(月)午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ④帯広東RC、夜間例会開催のご案内(ガバナー公式訪問)
日時 8月2日(火)午後6時
場所 ホテル日航ノースランド帯広
- ⑤帯広RC、8月10日(水)の例会は、休会と致します。
帯広西RC、8月11日(木)の例会は、祝日のため休会と致します。
帯広北RC、8月12日(金)の例会は、休会と致します。
帯広南RC、8月15日(月)の例会は、休会と致します。
帯広東RC、8月16日(火)の例会は、休会と致します。



会長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸
幹事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

ニコニコ献金

菊地 竜太郎 親睦活動委員

久木佐知子 RI第2500地区ガバナー

今日は帯広西ロータリークラブにてニコニコ献金させていただきます。

奥 敏則 会長

今日は久木佐知子ガバナーをお迎えしての公式訪問例会です。宜しくお願い致します。

大田 豊 創立50周年記念事業部長

7月18日、植松務氏の講演をもって全ての記念事業を終える事ができました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



茨木 雅敏 会員

多忙のため、約4か月ぶりの例会出席です。誠に申し訳ございません。

大友 広明 会員

3回目のホールインワンをしてしまいました。帯広国際カントリークラブ東7番サブグリーンです。

菊地竜太郎 会員

ニコニコ献金発表しましたので、ニコニコ献金させていただきます。

ニコニコ 献金	7月21日	28,000円
	累計	100,000円 (7月21日現在)

◆プログラム

「講話」

RI第2500地区ガバナー 久木 佐知子 様



帯広西RCの皆さん、こんばんは。2022-23年度のガバナーを拝命しました久木佐知子でございます。旭川西RCに所属しております。日頃より皆さまにはクラブの運営と地区の活動にご協力いただき感謝申し上げます。

7月1日から新しい年度を迎えましたが、世界的なパンデミックでこの2年半の間、活動が制限されてきました。クラブ運営も大変ご苦労されてきたことと思います。私自身も国際協議会をはじめ研修が全てオンラインでしたので、こうしてクラブを訪問させていただき、皆さまと直接お会いできることを心から嬉しく思っております。

先ほど会長幹事懇談会に続きクラブ協議会が開催されました。奥敏則会長の今年度にかかる意気込みと熱意、そして各委員長様の活動方針をお伺いして、こちらのクラブは素晴らしい、活気があるなどお見受けいたしました。2年後には小谷ガバナーを輩出されるクラブです。奥会長はじめ皆さんお一人お一人がリーダーシップを発揮していただき、その行動力で2500地区を牽引して行って欲しいと思います。

本年度も依然としてコロナ禍での活動となりますが、状況を見ながら地区行事も再開させて参りたいと思いますので。是非、計画中の事業に加え、新しい事業にも取り組んでいただければと思います。

さて、国際ロータリー117代目の会長にカナダのジェニファー・E・ジョーンズ氏が就任されました。国際ロータリー初の女性RI会長の誕生は世界に向けて大きなインパクトであると思います。多様性、公平さ、インクルージョンを尊重するRIの基本方針に通じる素晴らしい出来事と多くのロータリアンが歓迎しています。もし、国際ロータリーの生みの親、ポール・ハリスが、今、生きていたら、このことをどう語るでしょう。きっと「一人の素晴らしいロータリアンがRI会長になった、その方が女性だというだけのこと」と言うでしょう。

私も同じ年にガバナーを務めさせていただくことに大きな喜びを感じています。この年度は私を含め日本の34地区の中で3人の女性ガバナーが誕生しました。

他にも大きな変化が生まれています。ローターアクトが国際ロータリーに加盟し、現在RIの会員数は世界で140万人になりました。日本ではロータリー衛星クラブをはじめとするさまざまな形態のロータリークラブが生まれています。そして国際大会から例会にいたるまでオンラインが活用されるようになりました。

先月、アメリカのヒューストンで3年ぶりに対面式(ハイブリット開催)で国際大会が開催されました。ご覧いただいているシーンはジェニファー・E・ジョーンズRI会長がテーマと活動方針を話していらっしゃる場面です。例年は35,000人くらいが参加するそうですが、今年は11,000人とのことです。2500地区から漆崎副ガバナーをはじめ10名が参加しました。私にとって素晴らしい体験と静かな感動がありました。

6/5(日)大会初日、「日本人親善朝食会」が開催されました。RI理事や各地区のガバナー、エレクト、PDGなど210名が参加し、シェカール・メーターRI会長、ジェニファー・ジョーンズRI会長エレクトも同席され、和やかな雰囲気の中で朝食会が進行しました。私は同期のエレクトとともにジョーンズRI会長エレクトのもとへ、私たちが年度のガバナーであることが分かったと、両手を広げ、包み込むように一人ひとりの肩を抱いてくれました。私は静かな感動を覚えました。インクルージョンとはこのような思いを人に抱かせることではないでしょうか。

RI会長はとてもフレンドリーで人を包み込むような優しさに溢れた方です。また目的達成のための粘り強さとダイナミックな考えを併せ持った方です。ご自身のFBページをお持ちで、私はそこからも情報を得ています。

効果的な情報発信や伝える力を持った方で新しいタイプのリーダーだと思います。

また、ロータリーの素晴らしさを体感する出来事もありました。開会式にはさまざまな民族衣装に身を包んだ参加者が会場に彩りを添えていました。ローターアクトたちの顔も見えます。国際ロータリーには200以上の国や地域が加入していますが、国連の加盟国より多いといえます。ステージでは国旗入場が始まりました。ウクライナの国旗が入場すると会場の全員が立ち上がり大きな声援を送りました。11,000人の心が一つになった瞬間です。ロータリーのつながり、深い絆を感じました。

さて、「ロータリーの友7月号」にジェニファー・ジョーンズ会長のメッセージが載っています。RI会長は私たち一人一人にロータリーのストーリーの語り手になることを求めています。皆さんはロータリークラブのことを他の人に話をする時、どのように伝えていますか。私は、このように伝えています。

「ロータリークラブは世界のほぼすべての国・地域に存在し、140万人以上の会員からなる国際的な奉仕団体です。世界保健機構(WHO)や国連児童基金(ユニセフ)とも協力して人道的奉仕や地域社会の課題に取り組んでいます。すべての職業において倫理を大切に、親善と平和の確立に寄与することを目的に活動しています」そして、ロータリークラブで新しい出会いと奉仕の感動を分かち合いませんか。と、呼びかけています。

皆さまの方が上手にロータリーについて語れると思います。一度、ご自身でどう伝えるか考えてみてください。

さて、私は旭川市で小さな美術画廊を営んでおります。画廊を開いて7、8年ほどたった頃、私は自分の専門的な知識や人との繋がりを生かしてアートを主軸に街に貢献ができないかと考えていました。旭川は彫刻の街。市内のいたるところに彫刻が設置されています。しかし、野外に設置された彫刻は時を経て周辺環境が変わるとその場所にそぐわない彫刻もでてきました。

この問題解決に「旭川彫刻フェスタ」という事業を提案しました。この計画に関心を持ってくれたのがロータリークラブの皆さんです。旭川市内の複数のロータリークラブで卓話をさせていただきました。その中のひとつ旭川西RCに2005年に初の女性会員として入会させていただきました。その事業は今年20年を迎えています。

また国際奉仕事業に関わったことも、私のロータリー観に大きな変化をもたらしました。2015年から4年間、地区のVTT委員長を務めました。経済や環境の分野でタイやマレーシアからの専門家チームの人材育成に関わりましたが、VTTは研修生の育成だけでなく、研修生の向こう側にいる多くの人たちへの人道支援であることが分かりました。各国から5人ずつ受け入れをしましたが、タイの研修生が帰国後に2名、またマレーシアの研修生も2名が地元のロータリークラブに加盟し、それぞれの地域でロータリアンとして活躍してくれています。これほど嬉しいことはありません。

ロータリーには「ロータリーの不思議な力」「マジック オブ ロータリー」があると言います。それは知らないうちに形成される世界中の人との人間関係と深い絆です。皆さまもストーリーテラーとしてご自身のストーリーを語ってロータリーの魅力を広げていただければ幸いです。マイロータリーにそのリソースがありますので、ぜひ活用してみてください。

さて、ジョーンズRI会長は年度のテーマを「イマジン・ロータリー」と発表されました。スピーチでは、「世界にもたらす変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりをいかすよう」呼びかけました。

そしてDEI「多様性・公平さ・インクルージョン」を優先項目とすることを求めました。多様性はロータリーの長年にわたる中核的価値観のひとつであり、最大の強みでもあります。そしてインクルージョンこそが会員増強の鍵になるといいます。

その上で「ロータリーでの参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが目的意識と熱意を生み出す」といい、さらに、「会員がロータリーに何を期待しているのか」を訊ねたうえで、やりがいのある責任を会員に与えることが重要だと説きました。

加えて2023年までにロータリーの会員基盤の30%を女性にするというRI理事会の目標達成についても、110か国以上で既にこの目標は達成されていますが、日本では7%です。2500地区は5%にも達していません。ローターアクトではすでに会員全体の52%が女性であることを指摘しました。私は2500地区で10%を目指したいと思います。

「私たちには皆、夢があります。しかし、そのために行動するかどうか決めるのは私たちです。ロータリーのような団体がポリオ根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くなら、それを実現させる責任は自分たちにあります」と締めくくりました。

RI会長は、私たちがともにロータリーを「イマジン(想像)」するにあたり最も重要なタスクは、すべてのロータリー会員が歓迎されている、大切にされていると感じられる経験を提供すること。会員の多くがロータリーとの強いつながりを実感でき、ロータリーでより豊かな経験をもつことが重要と説いています。

ロータリーの調査によると、2020年の1年間、ロータリーへの入会者は121,000人、退会者は137,000人です。その内、1年以内に退会した人は13,000人にのぼります。また、退会者の23%がクラブ環境を理由にあげています。ロータリーの成長に会員拡大はかかせませんが、会員維持も重要です。RI会長は「心地よさ」と「会員への配慮」を優先項目として、クラブ内でDEIについて対話を始めて欲しいと呼び掛けています。今年度、

DEI委員会を創設しました。DEIについて講師が必要な時はDEI委員会にご相談ください。

さて、地区スローガンは「ともに紡ごう！ ロータリーの未来へ」といたしました。その実現に向けて、地区活動方針を「大きな夢を紡ぐために」10項目を挙げさせていただきました。

ロータリーの一番大切な財産は会員です。そして目的達成には会員の団結力が不可欠です。ロータリーを成長させるためには、奉仕とプロジェクトのインパクトを高め、地域社会におけるロータリーの認知度と理解度を高めることです。そして何より重要になるのが会員増強と会員の維持です。会員基盤を成長させることで私たちはさらに多くのことを達成できるようになります。

DEIを取り入れて女性や若い人をクラブに迎え入れましょう。会員が増えることで会員基盤を強化し会員の参加を促してください。この時にシニア会員への配慮も欠かせません。シニア会員と若い会員の交流が図られているクラブは活性化が上手くいっているクラブです。また入会希望者の話を聞いて、もし既存クラブでの参加が難しい場合は、その人にあった条件で参加できる新クラブを考えてみてください。先月、釧路北RCで初の衛星クラブが誕生しました。事業を始めたばかりの若手経営者をはじめ、女性10名を含む33名が新しく加わりました。この数は釧路北RCの会員数に加算され、現在、110名を数えます。衛星クラブは8名で設立できます。皆さんのクラブでも考えてみてください。詳しくはマイロータリーで検索していただくか、地区事務所にお訊ねください。

インクルージョン溢れるクラブを作る上で重要なことは、違うバックグラウンドを持った人たちが良い仲間になれるかどうかです。そのために必要なのは他者を思う気持ち、他者への思いやりと変化を受け入れる柔軟な心を持つことではないでしょうか。

「イマジン・ロータリー」は夢のあるテーマです。皆さんの夢を大いに膨らませていただき、その夢の実現のために行動していただくことを期待しています。

クラブの活性化のためには、家族を行事に誘う。ローターアクトに活動に参加してもらう。クラブのウェブサイト、ソーシャルメディアを更新する。地域のあらゆる種類のリーダーと繋がりを築く。どのような人がロータリーに相応しいか、新しい人にも声をかけ、活動やイベントに参加してもらう。ストーリーテラーになってロータリーの素晴らしさを伝える。シニア会員と若い会員のコミュニケーションが図られている。以上、クラブの実情、個性、特徴を生かしてクラブ運営を行っていただくことでクラブ活性化へと導いていただければと思います。

「今ほど大切な時間はない」時間は味方でも敵でもあり得る。それをどうするかあなた自身、あなたの目標、そして与えられたすべての時間を生かすことへのあなたの決意次第だ」とジグ・ジグラーが言っています。

イマジン。想像してみてください。成長し強固になったクラブを、来年の6月30日に2500地区とともに貴クラブも素晴らしい一年であったと、会員が皆、思っていることを、想像してみてください。

本日は貴重な時間をいただきありがとうございました。RI会長のメッセージと地区目標をお伝えさせていただきました。第6分区分松原ガバナー補佐のもと、そして奥会長のリーダーシップのもと、2500地区で最も輝くクラブとしてご活躍されることを祈念いたします。ご清聴ありがとうございました。

